

訂正のお知らせとお詫び

平成 25 年度 佐賀県教育センター個別実践研究

小・中・高等学校教育相談研究委員会平成 25 年度小中高等学校教育相談

「児童生徒一人一人が居心地のよさを感じる学級集団づくり」

2 研究の実際 (1) 開発的・予防的生徒指導の考え方のページにおいて、以下の誤記載がありましたので、訂正しています。

【誤】八並・国分(2008) → 【正】八並(2008)

誤記載によりご迷惑をお掛け致しました全ての皆様に深くお詫び申し上げます。

トップページ

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h25/04_soudan/top.htm

該当ページ

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h25/04_soudan/kaihatsu.htm

2 研究の実際

(1) 開発的・予防的生徒指導の考え方

生徒指導の分類

八並(2008)は、生徒指導を開発的生徒指導、予防的生徒指導、問題解決的生徒指導に分類して実践モデル(図1-1)を提案しています。

開発的生徒指導とは、全ての児童生徒を対象とした問題行動の予防や、子どもの個性・自尊感情・社会的スキルの伸長に力点を置いた生徒指導のことです。主に学級集団に焦点を当て、集団の中で個を育てる生徒指導として、現在、多くの学校で非行防止教育や犯罪被害防止教育、構成的グループエンカウンター、ピア・サポート、ソーシャルスキルトレーニング、キャリア教育などが行われています。

予防的生徒指導とは、登校をしぶる、保健室に頻繁に行く、早退や欠席が目立ち始めるなど、一部の気になる児童生徒に対して、初期の段階で問題を解決を図り、深刻な問題へ発展しないように予防する生徒指導のことです。また、問題解決的生徒指導とは、いじめ・不登校・暴力行為・薬物乱用・摂食障害・不安障害など深刻な問題行動や悩みを抱えている児童生徒に対して、学校や関係機関が連携して対応する生徒指導のことです。いずれも、個に焦点を当て、個を育てる生徒指導のことを言います。

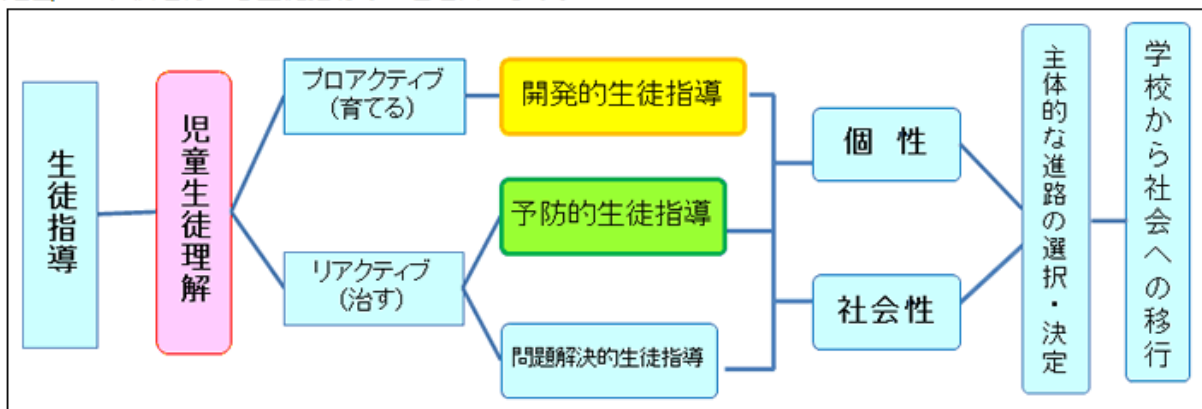


図1-1 生徒指導の実践モデル